

## 平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年10月30日

上場会社名 長瀬産業株式会社

上場取引所 東大

コード番号 8012 URL <http://www.nagase.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 長瀬 洋

問合せ先責任者 (役職名) 経理部統括

(氏名) 古川 方理

TEL 03-3665-3103

四半期報告書提出予定日 平成21年11月12日

配当支払開始予定日

平成21年12月7日

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	281,368	△26.8	5,262	△40.9	5,796	△41.1	3,095	△45.8
21年3月期第2四半期	384,621	—	8,901	—	9,849	—	5,706	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	24.08	—
21年3月期第2四半期	44.38	44.38

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	355,279	200,094	54.2	1,498.78
21年3月期	340,968	191,931	54.1	1,435.88

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 192,681百万円 21年3月期 184,599百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	8.00	—	8.00	16.00
22年3月期	—	7.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	7.00	14.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	575,000	△19.6	10,000	△20.1	11,000	△15.7	6,000	3.3	46.67

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご参照下さい。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第2四半期	138,408,285株	21年3月期	138,408,285株
---------------------	-------------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数	22年3月期第2四半期	9,849,337株	21年3月期	9,846,589株
-----------	-------------	------------	--------	------------

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第2四半期	128,560,183株	21年3月期第2四半期	128,579,544株
----------------------	-------------	--------------	-------------	--------------

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成21年7月30日発表の通期業績予想を修正しております。

2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予想が含まれておりません。世界経済・競合状況・為替・金利の変動等にかかわるリスクや不安定要因により、実際の業績が記載の予想数値と大幅に異なる可能性があります。

## 【定性的情報・財務諸表等】

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

#### (1) 業績全般の概況

当第2四半期までのわが国経済は、在庫調整の進展や一連の景気対策などにより一部に回復傾向がみられたものの、生産活動は総じて低調に推移し、雇用情勢の悪化や個人消費の低迷など、経済情勢悪化の懸念含みで推移しております。

このような状況のもと、当第2四半期の業績は、国内販売は1,728億7千万円（前年同期比21.3%減）、海外販売が1,084億9千万円（同34.2%減）となり、売上高は2,813億6千万円（同26.8%減）となりました。

利益面につきましては、販売費及び一般管理費の削減に努めたものの、売上高の減少が大きく影響し、営業利益は52億6千万円（同40.9%減）、経常利益は57億9千万円（同41.1%減）、四半期純利益は30億9千万円（同45.8%減）となりました。

#### (2) 事業別概況

当第1四半期より事業別セグメントの区分を一部変更しております。前年同期比につきましては、前第2四半期を当第2四半期において用いた事業の区分に組替えて算出しております。

#### 【 化成品 】 売上高 : 1,110 億 4 千万円 前年同期比 26.0%減

化成品につきましては、売上がやや回復基調にあるものの、依然として化成品業界全体の需要減少の影響を受け、塗料原料やウレタン原料、樹脂原料・添加剤などを扱う機能化学品事業、染料・顔料などをはじめとする「色」に関連した商品を取扱う色材事業、界面活性剤および工業用油剤、シリコンやフッ素関連などの有機合成原料を幅広く取扱うスペシャリティケミカル事業の全ての事業で売上が大幅に減少しました。

#### 【 合成樹脂 】 売上高 : 863 億 1 千万円 前年同期比 36.7%減

合成樹脂につきましては、やや需要回復の兆しが見え始めたものの、国内においては精密機器・電子機器用途や自動車関連用途の売上が大きく減少したほか、建材および包装資材用途向けも低調に推移しました。また、海外での販売も、北東アジア、東南アジアおよび北米地域の全てにおいて落ち込んだため、全体として売上が大幅に減少しました。

#### 【 電子 】 売上高 : 566 億 3 千万円 前年同期比 18.2%減

電子につきましては、液晶用フィルムや液晶製造用薬液はほぼ前年同期並みに推移し、タッチパネル用部材などは大きく伸長しました。一方、精密研磨剤関連はハードディスク向けに回復したものの、シリコンウエハー用途は落ち込みました。半導体製造用薬液は稼動が戻らず低調、変性エポキシ樹脂関連は重電および携帯電話向けなどが前年同期並みに推移しましたが、自動車、弱電向けの不調の影響により売上が減少しました。また、海外での販売は全地域で低調な結果となり、全体として売上が減少しました。

#### 【 ライフサイエンス 】 売上高 : 268 億 1 千万円 前年同期比 5.0%減

ライフサイエンスにつきましては、ファインケミカル事業における医薬中間体および農薬原料などの売上が微減となりました。化粧品・健康食品の販売を行うビューティケア事業の売上は堅調に推移、また国内製造会社も堅調ではありましたが、全体として売上が微減となりました。

#### 【 その他 】 売上高 : 5 億 6 千万円 前年同期比 32.2%減

特記すべき事項はありません。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

### (1) 資産、負債、純資産等の状況

総資産は、棚卸商品の減少がありましたが、手元流動性資金を積み増したことによる有価証券の増加や株価の上昇による投資有価証券時価評価額の増加等により、3,552億7千万円となり、前期末に比べ143億1千万円増加しました。

負債は、短期借入金の減少がありましたが、仕入債務の増加や繰延税金負債の増加等により、1,551億8千万円となり、前期末に比べ61億4千万円増加しました。

純資産は、その他有価証券評価差額金の増加等により、2,000億9千万円となり、前期末に比べ81億6千万円増加しました。

以上の結果、自己資本比率は前期末の54.1%から0.1ポイント上昇し、54.2%となりました。

### (2) 連結キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、運転資金の減少および税金等調整前四半期純利益等により254億7千万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、手元流動性資金を積み増したことによる有価証券の取得や有形固定資産、投資有価証券の取得による支出等により、154億円の支出となりました。

また、財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の減少や配当金の支払い等により84億5千万円の支出となりました。

以上の結果、当第2四半期末における現金及び現金同等物の残高は、前期末に比べ19億1千万円増加し、380億5千万円となりました。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年7月30日に公表いたしました、平成22年3月期の通期業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日（平成21年10月30日）公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 4. その他

### (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 従来、法人税等の納付税額の算定に関して、一部の連結子会社におきましては法定実効税率をベースとした年間見積実効税率を用いて計算するなど四半期特有の会計処理を採用しておりましたが、四半期会計期間の税金費用をより適切に計算することを目的として、当第1四半期より年度決算と同様の原則的な会計処理に変更しております。なお、この変更による損益に与える影響は軽微であります。

② 当第1四半期より事業別セグメントの区分を一部変更しております。詳細につきましては、10ページ「(5) セグメント情報」に記載しております。

5. 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	27,127	26,137
受取手形及び売掛金	169,682	166,380
有価証券	21,000	10,000
商品及び製品	26,986	37,303
仕掛品	467	448
原材料及び貯蔵品	1,955	2,320
その他	7,620	8,534
貸倒引当金	△1,939	△1,976
流動資産合計	252,899	249,147
固定資産		
有形固定資産	41,165	39,207
無形固定資産	2,540	2,768
投資その他の資産		
投資有価証券	53,132	43,569
その他	5,998	6,915
貸倒引当金	△456	△641
投資その他の資産合計	58,673	49,843
固定資産合計	102,380	91,820
資産合計	355,279	340,968
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	98,499	90,007
短期借入金	12,913	19,888
未払法人税等	2,202	1,182
引当金	2,667	2,658
その他	13,241	12,519
流動負債合計	129,524	126,255
固定負債		
長期借入金	11,189	11,052
繰延税金負債	6,599	3,993
退職給付引当金	7,133	6,888
その他	736	846
固定負債合計	25,659	22,781
負債合計	155,184	149,036

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	9,699	9,699
資本剰余金	10,040	10,040
利益剰余金	170,316	168,257
自己株式	△5,388	△5,385
株主資本合計	184,668	182,611
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	12,319	7,939
繰延ヘッジ損益	2	64
為替換算調整勘定	△4,308	△6,016
評価・換算差額等合計	8,012	1,987
新株予約権	235	235
少数株主持分	7,178	7,096
純資産合計	200,094	191,931
負債純資産合計	355,279	340,968

(2) 【四半期連結損益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	384,621	281,368
売上原価	345,568	250,793
売上総利益	39,052	30,574
販売費及び一般管理費	30,151	25,312
営業利益	8,901	5,262
営業外収益		
受取利息	145	87
受取配当金	632	421
持分法による投資利益	341	109
その他	513	424
営業外収益合計	1,632	1,043
営業外費用		
支払利息	488	330
その他	196	178
営業外費用合計	684	508
経常利益	9,849	5,796
特別利益	25	55
特別損失	154	362
税金等調整前四半期純利益	9,721	5,489
法人税、住民税及び事業税	5,402	2,343
法人税等調整額	△1,618	△55
法人税等合計	3,784	2,288
少数株主利益	229	106
四半期純利益	5,706	3,095

## 【第2四半期連結会計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
売上高	196,911	149,848
売上原価	177,384	133,409
売上総利益	19,527	16,439
販売費及び一般管理費	15,299	12,797
営業利益	4,228	3,642
営業外収益		
受取利息	67	42
受取配当金	55	24
持分法による投資利益	197	64
その他	275	201
営業外収益合計	595	333
営業外費用		
支払利息	262	156
その他	107	105
営業外費用合計	370	261
経常利益	4,453	3,713
特別利益	24	10
特別損失	131	220
税金等調整前四半期純利益	4,346	3,504
法人税、住民税及び事業税	2,639	1,888
法人税等調整額	△933	△545
法人税等合計	1,706	1,343
少数株主利益	54	62
四半期純利益	2,585	2,098



## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	9,721	5,489
減価償却費	2,537	2,513
退職給付引当金の増減額(△は減少)	252	236
前払年金費用の増減額(△は増加)	951	745
受取利息及び受取配当金	△778	△509
支払利息	488	330
為替差損益(△は益)	51	△63
売上債権の増減額(△は増加)	1,523	△1,034
たな卸資産の増減額(△は増加)	△483	11,575
仕入債務の増減額(△は減少)	304	6,988
その他	1,506	306
小計	16,075	26,579
利息及び配当金の受取額	904	555
利息の支払額	△455	△337
法人税等の支払額	△4,338	△1,325
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,185	25,471
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の取得による支出	—	△10,000
有形固定資産の取得による支出	△5,311	△2,699
有形固定資産の売却による収入	43	12
投資有価証券の取得による支出	△354	△2,444
投資有価証券の売却による収入	550	46
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	—	△187
短期貸付金の増減額(△は増加)	△82	64
無形固定資産の取得による支出	△678	△325
その他	△371	124
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,204	△15,408
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△6,663	△7,456
長期借入れによる収入	5,020	200
配当金の支払額	△2,186	△1,028
少数株主への配当金の支払額	△207	△169
その他	△13	△3
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,050	△8,457
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,823	304
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	106	1,909
現金及び現金同等物の期首残高	23,486	36,137
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	6
現金及び現金同等物の四半期末残高	23,592	38,053

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報

## 【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日) (単位:百万円)

	化成品	合成樹脂	電子	ライフサイエンス	その他	計	消去 又は全社	連結
売上高及び営業損益								
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高	140,828	134,538	80,199	28,218	836	384,621	—	384,621
(2) セグメント間の内部売上高	39	96	88	16	2,523	2,765	(2,765)	—
計	140,868	134,635	80,288	28,235	3,360	387,386	(2,765)	384,621
営業費用	136,906	132,641	77,702	28,144	3,263	378,658	(2,937)	375,720
営業利益	3,961	1,994	2,585	90	96	8,728	172	8,901

(注) 1. 事業の区分は社内管理上使用している区分によっております。

## 2. 各区分の主な商品

## (1) 化成品

染料、染料用助剤、情報記録紙関連商品、製紙用化学品、石油化学製品、合成化学原料、顔料、塗料、インキ用原料、化粧品・トイレットリー用原料

## (2) 合成樹脂

熱可塑性樹脂、熱硬化性樹脂、合成ゴム、無機材料、副資材、合成樹脂製品、合成樹脂関連機器・装置・金型

## (3) 電子

LCD・半導体前工程用材料及び装置、LSIアセンブリ材料及び装置、電子精密研磨剤、通信デバイス、低温・真空機器、外観検査機、高機能エポキシ樹脂

## (4) ライフサイエンス

医薬・農薬原料、研究用試薬、検査薬、酵素剤、バイオ関連商品、放射線測定サービス、化粧品、健康食品、美容食品

## (5) その他

物流サービス、情報処理サービス、職能サービス

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日) (単位:百万円)

	化成品	合成樹脂	電子	ライフサイエンス	その他	計	消去 又は全社	連結
売上高及び営業損益								
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高	111,040	86,316	56,631	26,813	567	281,368	—	281,368
(2) セグメント間の内部売上高	0	117	73	9	2,040	2,241	(2,241)	—
計	111,040	86,433	56,704	26,822	2,608	283,610	(2,241)	281,368
営業費用	107,847	85,910	55,680	26,456	2,620	278,515	(2,408)	276,106
営業利益又は営業損失(△)	3,192	523	1,024	366	△12	5,095	167	5,262

(注) 1. 事業の区分は社内管理上使用している区分によっております。

## 2. 事業区分の変更

事業区分につきましては、より一層のシナジー効果を図るため、当第1四半期連結累計期間より、従来「電子」に含まれていた情報・機能資材事業の内、絶縁材料、フッ素樹脂関連製品等を取り扱うビジネスを「化成品」に、機能性フィルム・シートの表面検査装置等を取り扱うビジネスを「合成樹脂」にそれぞれ区分変更しました。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報を当第2四半期連結累計期間において用いた事業の区分の方法により区分すると次のようになります。

## ※組替後の前第2四半期実績

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日) (単位:百万円)

	化成品	合成樹脂	電子	ライフサイエンス	その他	計	消去 又は全社	連結
売上高及び営業損益								
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高	150,073	136,271	69,222	28,218	836	384,621	—	384,621
(2) セグメント間の内部売上高	39	96	88	16	2,523	2,765	(2,765)	—
計	150,112	136,368	69,310	28,235	3,360	387,386	(2,765)	384,621
営業費用	145,922	134,230	67,097	28,144	3,263	378,658	(2,937)	375,720
営業利益	4,190	2,137	2,213	90	96	8,728	172	8,901

## 3. 各区分の主な商品

## (1) 化成品

染料、顔料、情報記録紙関連商品、機能性色素、塗料・インキ用材料、ウレタン原料、樹脂原料、樹脂添加剤、油剤原料、界面活性剤、フッ素ケミカル、封止材原料、シリコーン原料

## (2) 合成樹脂

熱可塑性樹脂、熱硬化性樹脂、合成ゴム、無機材料、合成樹脂製品、合成樹脂関連機器・装置・金型、外観検査機

## (3) 電子

LCD・半導体前工程用材料及び装置、LCDパネル用部材、LSIアセンブリ材料及び装置、電子精密研磨剤、低温・真空機器、高機能エポキシ樹脂

## (4) ライフサイエンス

医薬・農薬原料、研究用試薬、検査薬、酵素剤、バイオ関連商品、放射線測定サービス、化粧品、健康食品、美容食品

## (5) その他

物流サービス、情報処理サービス、職能サービス

前第2四半期連結会計期間(自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日)

(単位:百万円)

	化成品	合成樹脂	電子	ライフサイエンス	その他	計	消去 又は全社	連結
売上高及び営業損益								
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高	70,861	68,977	42,200	14,473	398	196,911	—	196,911
(2) セグメント間の内部売上高	31	39	44	10	1,310	1,436	(1,436)	—
計	70,893	69,017	42,245	14,484	1,708	198,348	(1,436)	196,911
営業費用	68,908	68,071	41,056	14,521	1,654	194,212	(1,529)	192,683
営業利益又は営業損失(△)	1,984	945	1,188	△ 36	53	4,135	92	4,228

(注) 1. 事業の区分は社内管理上使用している区分によっております。

2. 各区分の主な商品

(1) 化成品

染料、染料用助剤、情報記録紙関連商品、製紙用化学品、石油化学製品、合成化学原料、顔料、塗料、インキ用原料、化粧品・トイレットリー用原料

(2) 合成樹脂

熱可塑性樹脂、熱硬化性樹脂、合成ゴム、無機材料、副資材、合成樹脂製品、合成樹脂関連機器・装置・金型

(3) 電子

LCD・半導体前工程用材料及び装置、LSIアセンブリ材料及び装置、電子精密研磨剤、通信デバイス、低温・真空機器、外観検査機、高機能エポキシ樹脂

(4) ライフサイエンス

医薬・農業原料、研究用試薬、検査薬、酵素剤、バイオ関連商品、放射線測定サービス、化粧品、健康食品、美容食品

(5) その他

物流サービス、情報処理サービス、職能サービス

当第2四半期連結会計期間(自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)

(単位:百万円)

	化成品	合成樹脂	電子	ライフサイエンス	その他	計	消去 又は全社	連結
売上高及び営業損益								
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高	58,611	47,925	30,380	12,656	274	149,848	—	149,848
(2) セグメント間の内部売上高	0	79	33	4	1,020	1,137	(1,137)	—
計	58,612	48,004	30,414	12,660	1,294	150,986	(1,137)	149,848
営業費用	56,825	47,310	29,345	12,668	1,273	147,422	(1,216)	146,206
営業利益又は営業損失(△)	1,787	693	1,068	△ 7	21	3,563	78	3,642

(注) 1. 事業の区分は社内管理上使用している区分によっております。

2. 事業区分の変更

事業区分につきましては、より一層のシナジー効果を図るため、当第1四半期連結累計期間より、従来「電子」に含まれていた情報・機能資材事業の内、絶縁材料、フッ素樹脂関連製品等を取り扱うビジネスを「化成品」に、機能性フィルム・シートの表面検査装置等を取り扱うビジネスを「合成樹脂」にそれぞれ区分変更しました。

なお、前第2四半期連結会計期間のセグメント情報を当第2四半期連結会計期間において用いた事業の区分の方法により区分すると次のようになります。

※組替後の前第2四半期実績

前第2四半期連結会計期間(自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日)

(単位:百万円)

	化成品	合成樹脂	電子	ライフサイエンス	その他	計	消去 又は全社	連結
売上高及び営業損益								
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高	75,291	69,813	36,934	14,473	398	196,911	—	196,911
(2) セグメント間の内部売上高	31	39	44	10	1,310	1,436	(1,436)	—
計	75,322	69,853	36,979	14,484	1,708	198,348	(1,436)	196,911
営業費用	73,240	68,844	35,950	14,521	1,654	194,212	(1,529)	192,683
営業利益又は営業損失(△)	2,081	1,008	1,028	△ 36	53	4,135	92	4,228

3. 各区分の主な商品

(1) 化成品

染料、顔料、情報記録紙関連商品、機能性色素、塗料・インキ用材料、ウレタン原料、樹脂原料、樹脂添加剤、油剤原料、界面活性剤、フッ素ケミカル、封止材原料、シリコーン原料

(2) 合成樹脂

熱可塑性樹脂、熱硬化性樹脂、合成ゴム、無機材料、合成樹脂製品、合成樹脂関連機器・装置・金型、外観検査機

(3) 電子

LCD・半導体前工程用材料及び装置、LCDパネル用部材、LSIアセンブリ材料及び装置、電子精密研磨剤、低温・真空機器、高機能エポキシ樹脂

(4) ライフサイエンス

医薬・農業原料、研究用試薬、検査薬、酵素剤、バイオ関連商品、放射線測定サービス、化粧品、健康食品、美容食品

(5) その他

物流サービス、情報処理サービス、職能サービス

## 【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

(単位:百万円)

	日本	北東 アジア	東南 アジア	北米	欧州	計	消去 又は全社	連結
売上高及び営業損益								
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高	253,254	73,382	40,905	9,991	7,088	384,621	—	384,621
(2) セグメント間の内部売上高	37,338	6,737	1,207	947	2,068	48,300	(48,300)	—
計	290,592	80,119	42,113	10,939	9,157	432,921	(48,300)	384,621
営業費用	285,954	77,654	40,808	10,824	8,843	424,084	(48,364)	375,720
営業利益	4,638	2,465	1,305	114	314	8,837	64	8,901

- (注) 1. 国又は地域の区分の方法は、地理的近接度によっております。  
 2. 各区分に属する主な国又は地域  
 (1) 北東アジア …………… 台湾、中国  
 (2) 東南アジア …………… シンガポール、タイ  
 (3) 北米 …………… 米国、カナダ  
 (4) 欧州 …………… ドイツ

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

(単位:百万円)

	日本	北東 アジア	東南 アジア	北米	欧州	計	消去 又は全社	連結
売上高及び営業損益								
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高	196,402	51,055	23,577	5,536	4,796	281,368	—	281,368
(2) セグメント間の内部売上高	25,073	2,129	507	573	1,418	29,702	(29,702)	—
計	221,475	53,185	24,085	6,109	6,214	311,070	(29,702)	281,368
営業費用	217,873	52,072	23,653	6,134	6,170	305,904	(29,798)	276,106
営業利益又は営業損失(△)	3,602	1,112	431	△24	44	5,165	96	5,262

- (注) 1. 国又は地域の区分の方法は、地理的近接度によっております。  
 2. 各区分に属する主な国又は地域  
 (1) 北東アジア …………… 台湾、中国  
 (2) 東南アジア …………… シンガポール、タイ  
 (3) 北米 …………… 米国  
 (4) 欧州 …………… ドイツ

前第2四半期連結会計期間(自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日)

(単位:百万円)

	日本	北東 アジア	東南 アジア	北米	欧州	計	消去 又は全社	連結
売上高及び営業損益								
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高	128,945	37,983	20,892	5,326	3,764	196,911	—	196,911
(2) セグメント間の内部売上高	18,871	3,615	664	409	1,217	24,779	(24,779)	—
計	147,816	41,599	21,556	5,735	4,982	221,690	(24,779)	196,911
営業費用	145,544	40,496	20,928	5,691	4,809	217,470	(24,786)	192,683
営業利益	2,272	1,102	628	44	172	4,220	7	4,228

- (注) 1. 国又は地域の区分の方法は、地理的近接度によっております。  
 2. 各区分に属する主な国又は地域  
 (1) 北東アジア …………… 台湾、中国  
 (2) 東南アジア …………… シンガポール、タイ  
 (3) 北米 …………… 米国、カナダ  
 (4) 欧州 …………… ドイツ

当第2四半期連結会計期間(自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)

(単位:百万円)

	日本	北東 アジア	東南 アジア	北米	欧州	計	消去 又は全社	連結
売上高及び営業損益								
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高	102,381	28,433	13,645	2,751	2,635	149,848	—	149,848
(2) セグメント間の内部売上高	13,377	1,179	309	402	545	15,814	(15,814)	—
計	115,759	29,613	13,954	3,154	3,181	165,663	(15,814)	149,848
営業費用	113,356	28,836	13,559	3,162	3,141	162,056	(15,850)	146,206
営業利益又は営業損失(△)	2,402	777	395	△7	40	3,606	35	3,642

- (注) 1. 国又は地域の区分の方法は、地理的近接度によっております。  
 2. 各区分に属する主な国又は地域  
 (1) 北東アジア …………… 台湾、中国  
 (2) 東南アジア …………… シンガポール、タイ  
 (3) 北米 …………… 米国  
 (4) 欧州 …………… ドイツ

## 【海外売上高】

前第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日) (単位:百万円)

	北東 アジア	東南 アジア	北米	欧州 ・他	計
I 海外売上高	95,235	47,867	11,563	10,292	164,959
II 連結売上高					384,621
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	24.8	12.4	3.0	2.7	42.9

- (注) 1. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。  
 2. 国又は地域の区分の方法は、地理的近接度によっております。  
 3. 各区分に属する主な国又は地域  
 (1) 北東アジア …………… 台湾、中国  
 (2) 東南アジア …………… シンガポール、タイ  
 (3) 北米 …………… 米国、カナダ  
 (4) 欧州・他 …………… ドイツ

前第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日) (単位:百万円)

	北東 アジア	東南 アジア	北米	欧州 ・他	計
I 海外売上高	65,364	30,351	6,791	5,985	108,494
II 連結売上高					281,368
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	23.3	10.8	2.4	2.1	38.6

- (注) 1. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。  
 2. 国又は地域の区分の方法は、地理的近接度によっております。  
 3. 各区分に属する主な国又は地域  
 (1) 北東アジア …………… 台湾、中国  
 (2) 東南アジア …………… シンガポール、タイ  
 (3) 北米 …………… 米国  
 (4) 欧州・他 …………… ドイツ

前第2四半期連結会計期間(自平成20年7月1日至平成20年9月30日) (単位:百万円)

	北東 アジア	東南 アジア	北米	欧州 ・他	計
I 海外売上高	50,088	23,836	5,966	5,792	85,684
II 連結売上高					196,911
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	25.4	12.1	3.0	3.0	43.5

- (注) 1. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。  
 2. 国又は地域の区分の方法は、地理的近接度によっております。  
 3. 各区分に属する主な国又は地域  
 (1) 北東アジア …………… 台湾、中国  
 (2) 東南アジア …………… シンガポール、タイ  
 (3) 北米 …………… 米国、カナダ  
 (4) 欧州・他 …………… ドイツ

前第2四半期連結会計期間(自平成21年7月1日至平成21年9月30日) (単位:百万円)

	北東 アジア	東南 アジア	北米	欧州 ・他	計
I 海外売上高	35,714	17,473	3,528	3,100	59,817
II 連結売上高					149,848
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	23.8	11.7	2.3	2.1	39.9

- (注) 1. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。  
 2. 国又は地域の区分の方法は、地理的近接度によっております。  
 3. 各区分に属する主な国又は地域  
 (1) 北東アジア …………… 台湾、中国  
 (2) 東南アジア …………… シンガポール、タイ  
 (3) 北米 …………… 米国  
 (4) 欧州・他 …………… ドイツ

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
 該当事項はありません。